

令和7年度事業計画書について

1 国際交流協会を「知っていただく」

①市役所、町役場での手続きの際の周知

- ・外国人の方は、転入する際、本人または受入団体等が必ず市役所、町役場で手続きを行う必要がある。
- ・4月以降、県国際経済課との連携のもと役場等の住民課窓口において、国際交流協会や外国人相談センターを紹介するチラシの配布を依頼する。

②介護人材の研修の際の周知

- ・介護人材の確保が課題となる中、福井県ではタイ、ミャンマーから介護人材を受け入れることを進めている。
- ・長寿福祉課、県社会福祉協議会と連携し、福井県での生活の前のオリエンテーションや研修の際に、当該会場に職員が出向き、国際交流協会の相談業務やコミュニティリーダーの制度をアピールする。

③職員が講師の場を活用して国際交流協会を紹介

- ・職員が講師として参加する際には、国際交流協会の動画の視聴などにより、国際交流協会を学生や一般の方にアピールする。

2 コミュニティリーダーを核とした情報の提供

- ・県では、国際経済課を中心として、各産業、農業分野、医療・福祉・教育分野の担当課等と多文化共生推進チームを組織している。チームには国際交流協会も参画する。
- ・令和7年度からは、このチームが発行する情報を国際経済課で集約し、それを国際交流協会がコミュニティリーダーを活用して情報を提供する。
- ・これにより、県からの情報が的確に県内在住外国人に提供される。

3 相談支援体制の強化

- ・認知度が高まって、国際交流協会のふくい外国人相談センターに持ち込まれた相談案件を解決につなげていく支援員を新たに2名配置する。
- ・支援員は、国際交流会館の外に出向き、課題を抱える外国人と伴走し、県、市町、保健所、警察等の関係機関とつなげる。
- ・相談員とともに、相談者の問題に耳を傾け、関係機関の支援メニューをつなぎ、解決を図る。 (詳細別紙)

外国人総合相談体制の強化について（7年度新規事業）

○福井県国際交流会館に設置されているふくい外国人相談センターの機能を強化するため、相談員の課題をアウトリーチ型で解決する総合支援コーディネーター2名を配置する。

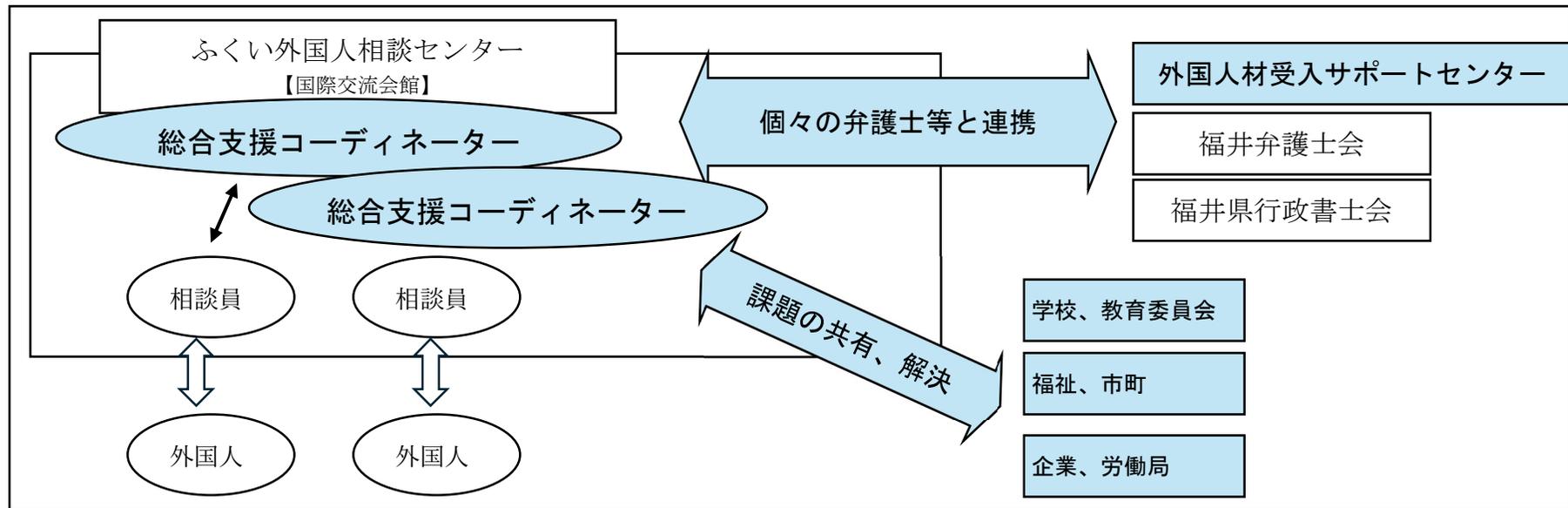
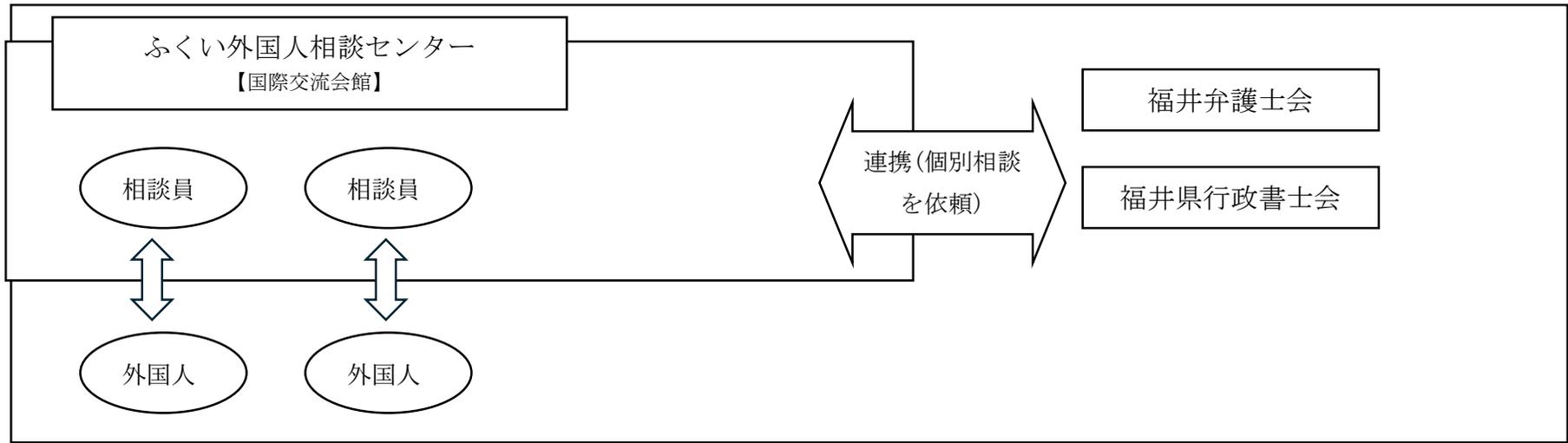
（県からの委託事業）

- ・配置時期 令和7年10月～
- ・配置場所 国際交流会館 ふくい外国人相談センター
- ・身分 福井県国際交流協会のプロパー職員
- ・業務
 - ・困難な課題に直面する外国人を支援する支援プログラムの策定
 - ・保健所、市町などの関係機関との解決に向けた協議・調整
 - ・弁護士、行政書士等の専門家との連携・支援等の業務に従事

○支援員の支援が必要な相談事例

分野	相談内容
在留資格・出産	<ul style="list-style-type: none">・現在、40代で妊娠後期。1月前に在留資格が切れ、オーバーステイ状態・日本での出産を希望しており、日本で使える医療保険、旅行保険なし・本人は元夫とは死別しており、胎児の父親であるパートナー（日本人50代 生活保護受給中）と内縁関係・パートナーは、別の女性との婚姻歴があり、離婚が成立していないことが判明したが、その女性は既に帰国しており連絡不可・出産費用の問題、胎児認知の問題、母子在留資格の問題、この家族の今後、どうすればよいのか。
家族・離婚	<ul style="list-style-type: none">・夫（日本人）から離婚を求められている。離婚届けに同意しないのであれば、裁判すると言っている。・現在住んでいるアパートの退去を夫から求められているが、お金がなく、いくところがない。・夫から、帰国するなら帰国費用をだすと言われているが、日本で家族3人で暮らしていきたい。・今後どのようにすればよいのか。

○ふくい外国人相談センターの強化 概念図



自 令和7年4月 1日

至 令和8年3月31日

【公益目的事業(国際化促進事業)】〔予算額 178,072 千円〕

本県の国際化に寄与することを目的に、幅広い県民の参加による全県的な国際理解、国際交流・国際協力および多文化共生を推進するため、下記のとおり事業を実施する。

1 国際交流事業〔予算額 2,916 千円〕

事業名	実施概要
<p>拡充 (1) 気軽にグローバル交流事業 〔712 千円〕</p>	<p>CIR(国際交流員)、多文化共生プロモーター、コミュニティーリーダー等ネイティブと多言語で気軽に交流できる場やいろんな国を知る場を設け、県民等が世界の多様性を知る機会を提供する。</p> <p>○CIRと気軽に英語で交流事業【指】〔673 千円〕</p> <p>①カリナさんとえいごであそぼ！ 対 象 : 県内在住の子どもとその保護者 場所・回数: 会館(2回)、嶺南(2回) 英語の手遊び、ゲーム、英語絵本の読み聞かせ等を通じて就学前から英語に慣れ親しむ。</p> <p>②カリナさんと Let's Talk 対 象 : 中高校生 場所・回数: 会館(2回) 中高生レベルの英語を使い、テーマに基づいて参加者同士が対話しながら楽しく交流を行う。</p> <p>○おちゃっとサロン(いろんな国を知る講座) 対 象 : 一般 場所・回数: 会館(2回)、嶺南(2回) (クルーズ船誘客3回程度) 会館および嶺南センターが県民に気軽に利用してもらえる施設として、世界の多様性を知る機会を提供する。 また、クルーズ船が敦賀港寄港の際には、外国人乗客に対し、日本文化を体験してもらうことで異文化理解を深める。</p> <p>新 ○FIKA(フィーカ)で Global Café 対 象 : 一般 場所・回数: 会館(Café FIKA 3カ国×12回) ネイティブによる「English Café」「中国語 Café」「韓国語 Café」を定期的に開催し、いつでも気軽に参加できる機会を提供することで、多言語での交流の楽しさを知る機会を提供する。</p> <p>○英語でディープな Virginia(バージニア)【自】〔39 千円〕 対 象 : 一般・賛助会員 場所・回数: 会館 前期・後期(各4回) 米国国際交流員のアメリカのゆかりの地やその地ならではの食べ物やスポット等を英語で楽しく紹介する。</p>

<p>(2) 国際交流・協力のつどい 開催事業【指】 〔2,100 千円〕</p>	<p>国際交流会館および嶺南地域において県民および外国人がともに集い、多様な異文化に触れ合う機会を提供するとともに、国際交流・協力に取り組む県内団体の活動等を紹介する。 ○福井国際フェスティバル開催事業〔1,600 千円〕 ○REINAN 国際交流のつどい開催事業〔500 千円〕</p>
<p>(3) 福井県国際交流関係団体 連絡会支援事業【指】 〔104 千円〕</p>	<p>県内の国際理解、国際交流・協力活動に取り組んでいる団体・グループが相互に意見交換、連携を図り、事業を推進するなど、その資質向上と継続的な活動ができるよう運営費の補助等を行う。 ○福井県国際交流関係団体連絡会支援事業〔85 千円〕 ○嶺南地域国際交流推進連絡会支援事業〔19 千円〕</p>

2 国際協力事業〔予算額 14,268 千円〕

事業名	実施概要
<p>(1) 技術研修員受入事業【受】 〔13,154 千円〕</p>	<p>国際協力の推進のため、技術研修員等を受け入れ、必要な技術の習得および県民との交流を通じて、研修員の母国の技術の向上、経済発展と国際的視野を有する人材育成に寄与するとともに、日本と相手国の相互理解と友好親善に資する。 ○海外技術研修員受入(ブラジル・アルゼンチン 3 名…8 か月)〔10,777 千円〕 ○浙江省技術研修員受入(1 名…4 か月)〔2,377 千円〕</p>
<p>(2) 海外ボランティア支援事業【受】 〔1,114 千円〕</p>	<p>本県出身の青年海外協力隊員等の要請に応じ、派遣国での活動に必要な物資を広く県民から募集し、現地での活動・交流に役立てるとともに、県民の国際協力への意識を高める。</p>

3 国際理解・研修事業〔予算額 751 千円〕

事業名	実施概要
<p>(1) 国際理解促進講座開催事業 【自】 〔458 千円〕</p>	<p>県内の小中学校に、外国人講師等の派遣・受入れをすることにより、多様な文化や価値観を学ぶとともに、積極的にコミュニケーションを取ることができるグローバルな人材を育成する。</p>
<p>(2) SDGs推進事業【自】 〔30 千円〕</p>	<p>SDGsに関連する展示を通して、SDGsに対する関心や理解を深め、地球規模の課題に向き合い、自然環境や生活環境等の良化に繋げる。</p>
<p>(3) フィンドレー大学奨学生派遣 【自】 〔263 千円〕</p>	<p>時代を担う若者等に国際的視野を養ってもらい、県民レベルでの相互交流や友好親善の促進を図るため、県民を派遣する。</p>

4 多文化共生事業〔予算額 40,914 千円〕

事業名	実施概要
(1) 外国人相談体制強化事業【受】 〔24,190 千円〕	<p>今後の地域活性化に必要な外国人住民がワンストップで生活、就労、医療等日本で暮らすための情報提供や相談対応等の体制強化を図る。</p> <p>(1) ふくい外国人相談センターの運営 (2) オンライン法律相談会の開催 新(3) 総合支援コーディネーター2名配置</p>
(2) 外国人が暮らしやすい環境づくり事業【受】 〔5,578 千円〕	<p>在留資格「特定技能」制度の設立により、今後も外国人住民の増加が見込まれることから、外国人の長期在住、活躍による今後の地域の活性化を図るため、外国人住民が地域に馴染み生活しやすい環境づくりを進める。</p> <p>(1) 県内各地域における日本語指導ボランティア養成講座開催 (2) 災害時における外国人支援研修会の開催 (3) 国際交流協会ホームページの自動翻訳システム運営 (4) 外国人コミュニティーリーダー認定・専門化</p>
(3) 外国人生活相談事業【指】 〔2,323 千円〕	<p>○日常生活において必要な情報や教育等の悩みの相談に対応する。 ○無料弁護士相談、無料行政書士相談(各月1回)の開催</p>
(4) ボランティア登録・活動推進事業【自】 〔127 千円〕	<p>国際交流・協力活動、異文化理解、国際理解、多文化共生の促進を図るため、人材の登録と公的機関等への紹介を行う。</p>
(5) 日本語常設講座開催事業【指】 〔505 千円〕	<p>日常生活を営む上で必要な初級から初中級レベルの日本語を学ぶための講座を開催する。(前期・後期 全8コース)</p>
(6) 医療支援体制構築事業【自】 〔443 千円〕	<p>緊急時に弱者となりうる外国人を支援するため、外国人が医療機関を受診する際の支援体制を整える。</p> <p>○外国人患者対応セミナー(医療・保健・福祉従事者用) ○医療通訳サポーター養成講座(入門・基礎)等</p>
(7) 日本語支援事業【指】 〔230 千円〕	<p>新規の日本語指導ボランティアの養成およびすでに活動しているボランティアの日本語指導技術の向上を図ることにより、多様な在住外国人の日本語学習ニーズに応えられる地域づくりを進める。</p>
(8) 外国人地域おこし協力隊による地域の国際化推進事業【受】 〔7,518 千円〕	<p>多文化共生社会の更なる実現を図るため、関係団体や個人、ふくい外国人コミュニティーリーダーや地域のキーパーソン等をつなぐ多文化共生プロモーター(外国人地域おこし協力隊)を配置し、共生社会の理解を深める。</p>
(9) 福井県災害多言語支援センターの設置運営【県との協定】	<p>福井県内で災害が起こった際に、県との協定に基づき、多言語支援センターを設置し、被災地の外国人住民支援等体制を整備する。</p>

5 情報提供・発信事業〔予算額 755 千円〕

事業名	実施概要
(1) 情報誌発行事業【指】 〔350 千円〕	<p>県民と外国人に、国際交流・協力活動への参加促進、国際理解の促進のため、情報紙を発行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多言語情報紙「FIA Pocket」(やさしい日・英・中・伯・越)【指】 ○協会年報発行【自】
(2) インターネットによる情報提供事業【指】 〔405 千円〕	<p>利用者にインターネットサービスの提供と、ソーシャルメディア等により県民に広く国際交流・協力情報を発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○インターネットサービスの提供 ○ホームページの運営 ○ソーシャルメディアを活用した情報発信(フェイスブック、Instagram)

6 旅券発給(事務補助)事業〔予算額 20,241 千円〕

7 福井県国際交流会館管理運営事業〔予算額 98,227 千円〕

外国新聞・図書等常備〔985 千円〕

上記1から6の事業の活動拠点である国際交流会館と国際交流嶺南センターの維持管理〔97,242 千円〕

〔 **新** 福井県国際交流会館全館 Wi-Fi 整備〔県執行〕

Free Wi-Fi を秋に整備予定。外国人を含む会館利用者の連絡手段として、また、オンライン会議の利活用等、便利で利用しやすい会館を目指す。〕

【収益事業】〔予算額 62,648 千円〕

1 公益目的事業以外の施設管理運営事業(福井県国際交流会館)〔55,763 千円〕

2 喫茶運営事業(福井県国際交流会館)〔6,885 千円〕

【法人運営事業】〔予算額 18,262 千円〕